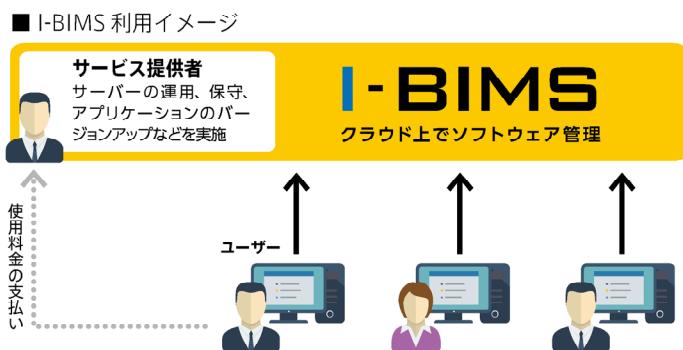


インターネットのアプリケーションサービスを提供

開発導入費・メンテナンス費が不要なためコストが抑えられます。

また、24時間アクセス可能なクラウド型サービスのため、個別のパソコンのセットアップなどは必要なく、すぐに利用できます。



従来技術と I-BIMS による計画策定業務の比較

	従来技術	I-BIMS
操作性	●単体のパソコン、単一のネットワークだけの作業となり、作業の分担が困難であり、データ管理が煩雑	●全ての機能はインターネットを経由して、個別のパソコンから利用が可能 ●管理方針に合わせたカスタマイズが可能
コスト	●独立したシステムは、開発・導入費が高額 ●定期的な保守費用の負担が発生	●システムをサーバーで一元管理することで導入コストを削減 ●開発済みのクラウド型システムであり、即時に導入可能
業務効率	●ライフサイクルコストの解析や予算の平準化などは複雑な作業であり、膨大な時間と労力が必要	●正確かつ迅速な解析により、様々なシナリオからベストな管理計画を作成
非効率・高コスト		効率的・低コスト

動作に必要な環境

OS	Windows7/8/10
ネットワーク	HTTPSでインターネットに接続できること
Web ブラウザ	Internet Explorer 11 Microsoft Edge Google Chrome Mozilla Firefox
その他	Microsoft Excel 2010 以降

・ Microsoft、Windows、Internet Explorer、Edge、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・ Google Chrome は、Google Inc. の登録商標です。
・ Mozilla Firefox は、Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標です。

利用実績等 (R1.7 現在)

- 利用実績／計35市町村
- 投稿・掲載／日経コンストラクション、橋梁と基礎、土木学会年次講演会(2009、2011、2018)



橋梁の設置環境や重要度を踏まえた、最適な維持管理計画を実現

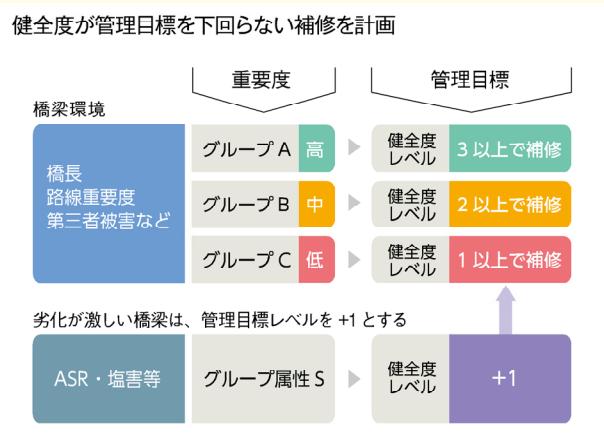
クラウド型橋梁長寿命化計画策定支援システム

日本では現在、橋梁の「老朽化」が大きな社会問題となっており、全国の自治体が「橋梁長寿命化修繕計画」の策定を進めています。I-BIMSは、橋梁の劣化状況から最適な補修時期・工法を導き出し、効率的な修繕計画を立案できるシステムです。

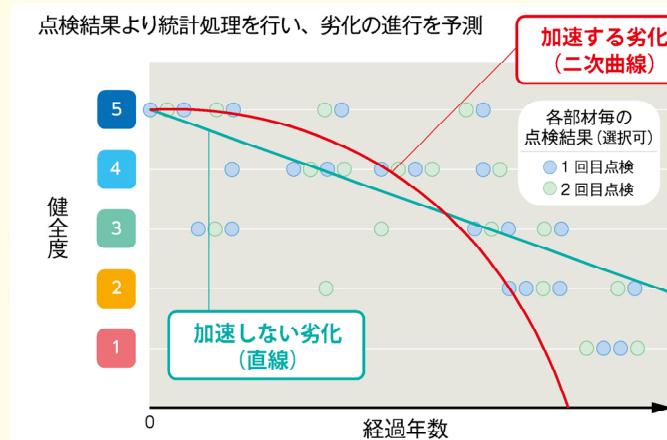
■ 計画策定のフロー



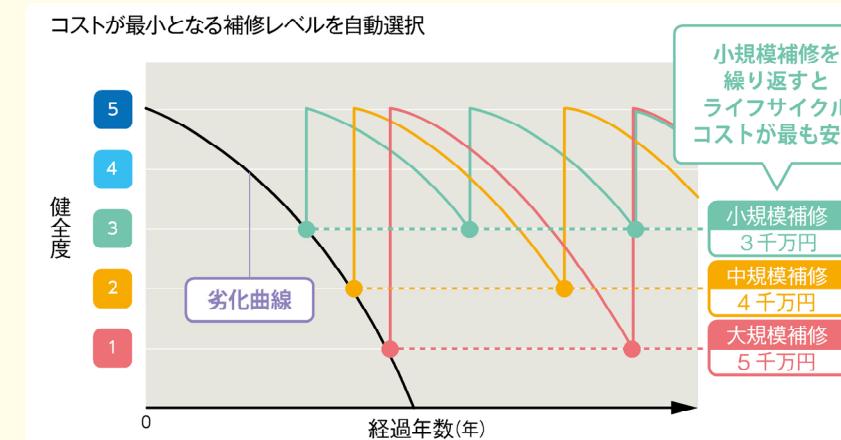
図A 橋梁のグループ化と管理レベル



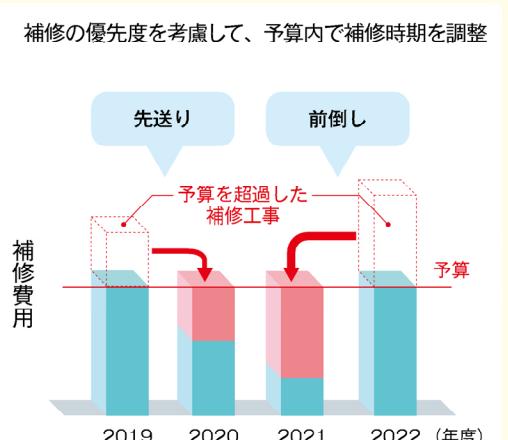
図B 損傷特性を踏まえた劣化予測式の自動作成



図C ライフサイクルコストの解析 [例]



図D 予算の平準化 [例]



I-BIMS の特徴

橋梁の置かれた地域環境を考慮した劣化予測

山間部や沿岸部など地域の環境条件を考慮

橋梁の重要度や劣化状況を踏まえた予算計画

年度ごとに増減する補修費用を平準化し、適切な予算編成を視覚的に表現

クラウド方式で時間・場所を問わないシステム利用

情報の一元化による保守管理の軽減